

週休 3 日制

shojikeni

週休3日制

できるだけ仕事をしたくないので、普段の生活は週休3日制。

本当は世の中、今みんなが働いているほどたくさんの仕事は必要なはずがない。どうにも、わざわざ仕事を作りだして、わざわざ疲れているように思える。世の中に仕事は必要だけど、「わざわざ」の分はいらない。

「仕事は社会を支えるためのもの」と考えている。見回せば、生活に必要なものは十分に生産されているから、もう仕事は十分な気がしないでもない。

産業革命で産業の機械化が進んだとき、生産性が大幅に上がり、多くの人の生活に必要なものを低コストで生産できるようになった。今は情報化で効率化が進み、生活に必要なものの生産をさらに低コストでできるようになった。だから労働量を減らしても生活に必要なものが十分に揃うはずだけど、ますます働こうとする。企業に属する限りは、営利を求めて働かないといけないから仕方がないのかな。過剰な生産活動の行き着く先はどこだろう...

まあそれはともかく、とりあえず僕が働く必要性はそれほどないはずだ。と思い、会社を辞めた。もちろん、霞を食べて生きてるわけじゃないから、まるっきり稼がないわけにもいかない。企業に属したら不必要に感じる仕事もしないといけないから、それはイヤ。株とかの不労所得で生活するつもりもない。

そんなこんなで、気がつけば週休3日の生活になった。企業に属していないから、不必要に感じる生産活動に付き合うこともない。当初の目的を達して自分の仕事量を抑えている。ただ、みんなが働いている中に紛れていると、自分も社会に貢献しているかのような充実感があるから不思議だ。堂々としてられる。

こういう勘違いは大切にしたいと思う。